

きくち文昭の
活動記録



大蔵村折「希望大橋」が完成しました



県警警備隊「はくろ」にて



秋田県藤里町若者就労機会の研修会場にて



青森県八戸市の自然エネルギーへの取組について視察



秋田県藤里町若者就労支援「福祉の里こみっと」にて



秋田県総合食品研究センターで酵母を生かした県産品の取組について説明を受ける



庄内警察署特別機動隊庄内分中隊の活動状況の視察



大蔵村の建設業者による「わさび栽培」ハウスにて



酒田港の2機目となるコンテナクレーン竣工式にて



石川県白山市の学校給食の地産地消への取組について視察



八戸市バイオマス発電所の視察



鶴岡市藤島川の集中豪雨の被害状況を視察

知ッとお情報1

山形県教育センターでは不登校・いじめ・進路等々についての相談を受け付けております。
教育相談ダイヤル **023-654-8181**
月～金(平日)は8時30分～20時30分まで
土・日・祝日は8時30分～17時30分まで
いじめ相談ダイヤル **023-654-8383**
24時間受付しております
保護者のみなさん お気軽にご相談ください

知ッとお情報2

夜間(19時～22時)の急病の相談は…

小児救急電話相談窓口
県内のプッシュ回線および携帯電話からは
#8000
ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0299
●相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
●対象者：県内に居住又は在住する15歳未満の子ども及びその家族 ●主な相談内容：子どもの発熱、嘔吐、下痢などの急な病気についての相談 等

大人の救急電話相談窓口
県内のプッシュ回線および携帯電話からは
#8500
ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0799
●相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
●対象者：県内に居住又は在住する大人及びその家族 ●主な相談内容：発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気などの急な病気についての相談 等

知ッとお情報3

「振り込め詐欺」、
「押し買い」に注意!

全国的に、振り込め詐欺事件や、自宅に不意に押しかけ、強引な交渉で貴金属などを相場より安く買い取られる「押し買い」が多発しています。

相談窓口は
★山形県警察本部 広報相談課 警察安全相談室
#9110または
023-642-9110
★山形警察署
023-627-0110
★各交番・駐在所
★山形県消費生活センター
023-624-0999
月～金(平日) 9時～17時まで
★消費者ホットライン(全国統一番号)
0570-064-370
土日祝日は国民生活センターにつながります。
相談受付時間は、10時～16時まで

知ッとお情報4

きくち文昭の県議会での
役職は次のとおりです

- 建設常任委員会委員
- 中小企業振興対策特別委員会委員

県政についてご意見・ご質問等が
ございましたらお気軽にお寄せください

- TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067
- E-mail: f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp
- 自宅: 〒990-0065 山形市双月町 250-3
- 県議会: 〒990-0023 山形市松波2-8-1 県議会北棟4階 TEL.023-630-3211(代) 内線8404 FAX.023-630-2833

番号は **171**
*加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSなどから「171」をダイヤルし、音声ガイドに従ってメッセージを録音・再生する。被災者の電話番号を入力すると、登録されたメッセージを聞くことができます。
体験利用ができます!
・毎月1日、15日 0時～24時
・正月三日(1日0時～3日24時)
・防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
・防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)



平成26年1月 No.7

きくち文昭
県議会レポート

4599番が
三入野ノ山

発行・編集 山形県議会議員 菊池文昭 〒990-0065 山形市双月町 250-3
TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067 E-mail f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

研究・開発でモノづくりの山形を推進します!

1914年(大正3年)に日本初となる合成繊維である人造絹「スフ」を米沢高等工業専門学校(現 山形大学工学部)が製造のきっかけを作り、大正4年に米沢製糸工場での生産開始となりました。当時の社会情勢では工業化が急がれており、現在のテイジン株式会社が日本初のレーヨンメーカーとして誕生して以来、繊維は「ナイロン」「テトロン」から現在の「炭素繊維(カーボンファイバー)」に至っております。以来100年が経ち山形県鶴岡市のスパイバー株で、次世代のスーパー繊維と言われるバクテリアを介して糸を作る「クモの糸」が誕生しました。特徴は鋼鉄の4倍の強度。優れた伸縮性。300℃までの耐熱性。石油を使わない微生物からのたんぱく質での生産を行う等、まさに夢の繊維の誕生であります。衣類はもちろん自動車部品や航空機の機体・医療分野では、大学病院等で人工血管としての研究が進んでおり、アメリカ航空宇宙局でも開発できなかったものを実現しました。今後量産化が進めば国内市場では5000億円以上を見込み、世界では数兆円規模の需要が見込める一大事業のスタート台に立ちました。現在、量産化に向けた工場が完成し鶴岡市で月1トンの生産を目指しています。100年前に日本の繊維を変えた米沢での「スフ」も鶴岡市の「クモの糸」もともに若い研究者たちの情熱により日の目を見たものであり、モノづくり山形と共に研究開発の山形を今後とも応援していきたいと思っております。またその過程や成果を次世代の子供たちにも知ってもらおう機会を作ることで、後継者育成の機運の醸成や研究・開発の拠点づくりにも取り組んで参ります。

山形県議会議員 きくち文昭



鶴岡市内にある慶應義塾大学先端生命研究所の前にて

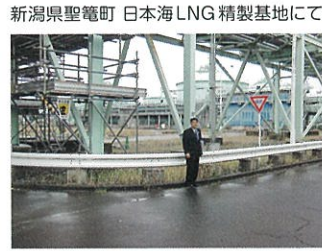
「クモの糸」で作ったドレス

県内外で調査・視察・要望等を行いました

安定供給の天然ガスに注目！

新潟県聖籠町のLNGガス精製基地を視察。東日本大震災時には停電と石油や灯油が不足した本県ですが都市ガスは供給が途絶えませんでした。

ここで精製されたガスは地下の配管を通して山形市に来ており仙台市までも供給されています。風力や水力も大切ですが、震災時に止まらない熱源として今後公共施設やリスク分散の為にエネルギーとして注目しております。



新潟県聖籠町 日本海LNG精製基地にて

山形空港増便について太田大臣に要望！

太田国土交通大臣に山形空港2便化に向けた要望を行う



国土交通省が実施した「羽田発着枠政策コンテスト」で山形空港2便化について太田大臣に土田東根市長、山本天童市長らと共に要望を行いました。山形空港は平成11年に1便化になって以来15年となり、観光振興に際することやビジネスでの需要拡大等が期待されます。今回のコンテストには全国の地方空港3枠のうち4空港が応募する中、山形空港は第2位で選定されました。



引きこもり調査の状況を視察

秋田県藤里町社会福祉協議会にて



藤里町は人口3700人余りで若年層を含め町の社会福祉協議会が引きこもりの実態調査を行い、実に1割の人が様々な理由で仕事につかない・家から出ない・人との接触を避ける等の状況が明らかとなり町では現在、就労に向けた支援や働くことへの意識改革などに取り組んでいます。「福祉の広場 こみっと」では軽食等の提供等を通じて働くことへのきっかけを作り、この取り組みは全国的に注目されており本県就労支援の一つとして参考になりました。



地熱発電が熱い！

東北電力澄川地熱発電所を視察



秋田県八幡平国定公園近くにある東北電力澄川地熱発電所（出力5万Kw）を視察。この施設は平成7年に三菱マテリアル株が地下の水蒸気を集め、東北電力が発送電を行っています。東北地方は安定供給が可能な地熱発電の可能性が高いのですが、適地と思われる場所が温泉地や国定公園内等制約があり候補地に苦勞しています。山形県内での取り組みはありませんが、自然エネルギーとして注目していきます。

北前船寄港地フォーラムを通し観光振興を！

新潟日報社本社で北前船フォーラム新潟に参加しました。京都・大阪をはじめ新潟・本県酒田等の北前船の寄港地がその伝統や文化を作り、地域の繁栄をもたらしたことから、観光や人の交流を通して今一度活性化の起爆剤にとの取り組みです。当日は観光業関係者や行政が一堂に会して寄港地からの代表者等と今後の観光振興に取り組む意見交換を行いました。



北前船フォーラムin新潟に参加。会場の新潟日報社にて

県警 警備艇「はぐろ」の機能性向上を！

県警唯一の警備艇「はぐろ」を視察。導入は平成6年で、庄内沿岸の人命救助や各種水上警察活動を行っています。酒田北港から飛島まで1時間、鼠ヶ関までは1時間10分と、導入20年を経過し、本来の警備や迅速な対応に遅れがあるものと思います。平成27年には「豊かな海づくり大会」が本県で予定されており、更新を含めより高度で適切な海上警備が可能になるよう取り組んで行きます。

酒田北港の県警警備艇「はぐろ」の運用状況の視察



若者就労支援を視察

東京都足立区若者サポートステーションの取組状況を視察



「あだち若者サポートステーション」ではハローワークや行政、NPOと連携しニート・フリーターの就労支援を行っています。ここでは若年層の働くことへの意識の向上や動機づけに積極的に取り組むことにより、自立支援に成果を上げています。また学校卒業後の引きこもりについても、NPOが取り組み制度の谷間のある若者支援と資格取得や、地域とのかかわりの中で社会に出るきっかけ作りは若者就労支援にとっても参考になりました。

都市鉱山・レアメタル回収・精錬所を視察

平成11年に「秋田県北部エコタウン計画」を当時の通産省と厚生省の認定を受け事業を開始。もともと小坂精錬所は明治17年に操業を開始し、現在は都市鉱山と言われる電子部品等を回収し精錬を行っています。その中で金は年間6トン・銀400トン・銅1万トン・鉛2万5千トンを生産し、国内有数の生産量を誇ります。平成20年にTSL炉を稼働し、リサイクル原料対応型溶融炉として、国内より視察に訪れる人もおり、観光振興にも貢献しています。

小坂精錬所を公明党山口代表らと視察



昨年の各種委員会等での質問要旨です

くわしくは で検索できます

観光を支える人材の育成を図れ！

菊池 これからは観光を支える人づくりが重要となる。山形大学の大学院で取り組んでいる高度観光人材育成の取組み状況と成果はどうか。

観光交流課長 昨年山形大学工学部で観光コースを試行的に開設した。今年度からは、観光MO T専攻が整備され、価値創生コースに「地域活性・観光系科目」7科目を開講。MO Tでは、実務経験者や経営者も対象にしており、経験や蓄積に基づく観光から科学的知見に基づく観光に移行することを目指した画期的なものと認識している。

県では、今年度、工学的な見地からプロモーション活動を調査分析する高度観光調査分析事業を委託し、今後の活動や人材育成にフィードバックするなど、内容の充実を支援していく。※昨年4月閉会中 中小企業振興対策特別委員会より

県営住宅は入居しやすい保証人制度に！

菊池 県営住宅入居に保証人を2人つけることになっているが、年数が経つと保証能力が継続しているのかという疑問も出てくる。保証会社を活用して収納率をあげているところもあると聞かすが、検討したことはあるか。

建築住宅課長 保証人を付ける目的は、家賃対策の他に万が一の場合の身元引受等の対応である。保証会社については検討したこともあるが、やはり身元引受についての対応や申込者の経済的負担増となることが懸念された。※昨年6月定例会 建設常任委員会から

研究・開発の支援で地域活性化を！

菊池 慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶応先端研）初のベンチャー企業のスパイバー社が「人工クモ糸」を発明したが、人工クモ糸はどのような製品に活用されるのか。

また、これまでの慶応先端研への支援と今後の支援の予定はどうか。

科学技術政策主幹 「人工クモ糸」は極めて高い強度と伸縮性があり自動車部品、医療製品等で幅広い利用が見込まれる。県の支援としては、慶応先端研が平成13年に開所してから、これまでメタボローム解析等の基盤技術の開発、応用研究に対する支援を実施した。その中でヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ社とスパイバー社が設立し、ベンチャー企業は2社誕生している。

23年度から25年度までは、バイオ関係の技術を活用した農業・食品分野が先行している。医療分野では創薬の開発が中心で県内大手企業との共同研究が進みつつある。こうした中、スパイバー社の「人工クモ糸」は、次世代繊維として工業分野でも有望であり、ものづくり産業の分野においても県内企業との連携の可能性が広がっており、国内の大手企業からも問い合わせが来ている。今後サンプル等を提供しながら国内メーカーとの共同研究が進められていくものと考えられる。これらのことから県としては企業誘致担当と連携して全面的な支援を進めていく。※中小企業振興対策特別委員会 昨年6月定例会から

断水しないための対策を！

菊池 4市2町が断水したが、山形市が断水しなかったのはなぜか。

公営事業課長 異なる給水区域の連絡管及び蔵王ダムの臨時水利権による増量と考える。自己水源の有無も大きな要因となる。

菊池 受水市町で配水池の容量に差異があり断水の発生に影響するが、断水を起こさないための県の考え方はどうか。

公営事業課長 断水は市民生活への影響が非常に大きいことを再認識し、早期解消を目指し尽力した。断水という不便を来さないよう、ハード・ソフト両面でしっかり検討していく。※昨年8月閉会中 建設常任委員会から

豪雨災害にも万全の態勢で！

菊池 7月18日からの豪雨に係る県土整備部の対応についてはどうか。

企画主幹 大規模な災害発生への恐れがあったため、各課室長とあらかじめ定める職員からなる、第三次配備体制をとった。また、部内災害対策会議を設置し、7月25日までに13回会議を開催して、各課から被害状況や被害箇所を報告を受け、今後の対応等を協議し対応した。

菊池 今回の災害の現場調査等において、技術職員が不足することはなかったのか。

管理課長 各総合支庁建設部に問い合わせたところ、内部の職員で対応可能ということであったが、置賜総合支庁で被災規模・箇所がともに大きかったため、本庁舎に1名、西庁舎に2名、計3名の職員を本庁から8月～9月まで臨時に派遣している。

菊池 道路の通行規制等の情報を県民にわかりやすく知らせていく努力が必要と考える。インターネットを使いワンクリック・ワンストップでアクセスできるようわかりやすい情報提供に努めるべきであるがどうか。

管理課長 災害情報は、随時危機管理課に提出しており、危機管理課から公表する形となっている。県土整備部としては、できる限り早く、危機管理課へ情報を提供できるよう努めていく。

道路保全課長 道路の通行規制の情報について、規制の時期が花笠まつりやお盆の帰省などで県外客が増える時期と重なることから、きめ細かい情報提供を行った。ホームページ上で規制箇所を表示した地図をクリックすると迂回路の情報を見ることができるようになり、8月4日から8月18日まで県のホームページに掲載した。

菊池 浄水場の薬品注入設備改修により、どの位の濁度まで対応可能となるのか。

公営事業課長 浄水処理に要する薬品の注入量が2倍になる。ただし、排泥処理の関係等もあるため、200度～400度の濁度で水を供給できることを目標に進めている。※昨年8月臨時会 建設常任委員会から